

令和4年2月
第427号



お
お



1/7 新春かるた大会の福笑



令和4年度 成人式1/9(日)

おめでとうございます。

板橋 海吏さん

小出 真太郎さん

板橋 瑠南さん

おもな内容

- ・祝 成人 …p 1
- ・大杉保存活用プロジェクト No.7 …p 2
- ・防災士になって思うこと …p 3
- ・伊勢神宮初詣に代表として参加しました …p 4
- ・新春かるた大会 …p 5
- ・こんにやく芋からのこんにやく作り …p 6
- ・蕎麦打ち体験 …p 7

祝 成人

おめでとうございます。おめでとうございます。

二十歳を迎える思い



板橋 海吏

社会人2年目になり、高校時代部活で培った経験が今生かされております。

高校時代部活でキツイ思いをする事がほとんどでしたが、このつらい思いを乗り越え、今の自分があるため、今後辛い事があっても自分の糧にして、地域貢献できるようにしていきたいと思いません。

まだまだ未熟な人間ですが、ここからもっともっと大きく大人の男性に成長していきたいと思うので、これからも何卒よろしくお願い申し上げます。

二十歳を迎える思い



板橋 瑠南

この度、無事に成人式を迎えることができとても嬉しく思います。

これまでに支えて下さった地域の皆様、家族、友人には感謝申し上げます。

私は現在、専門学校に通い資格取得のために学業に励んでいます。今は実習期間に入り、実際の現場での実習で慣れない環境の中で、将来の夢に向かって、今よりもっと成長できるように頑張っています。

家族には今まで支えてもらい、迷惑をかけるしまう事があると思います。ですが、今までの事を忘れずに感謝し、今よりもっと成長できる様学業に励み、夢に向かって頑張ります。



二十歳を迎える思い

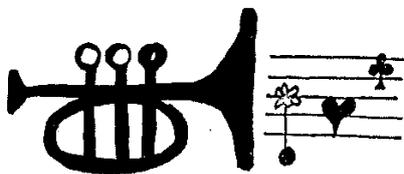


小出 真太郎

僕は今、建築を学ぶために専門学校に通っています。学校では大工技能士や木造建築士などの資格を取りました。

今年は、それに加えて2級建築士を受験するつもりでいます。難易度は、かなり高い資格ですが、一人の大人として頑張って勉強して合格できるようにしたいです。

成人したということは、大人として責任を持つということなので、色々なことを自分で考えて行動に移せるようにしたいです。



大杉保存活用プロジェクト No.7

11月1日より始まった大杉保存活用工事も、少しずつ完成が見えてきました。倒木地点から移動された大杉は、池の上に仮置きされ、所定の位置に設置するために底面の加工が行われています。不定形の大杉の根部分は、大工さん達により見事に整形され、平で強固な面が形作られました。もっとも大きい部分は直径4m程あり、削られた底面部分は今しか見ることができない部分なのだと思います、感慨深いものがあります。

また、倒木により崩れた社前は、石積みによる復旧が行われました。職人による見事な野面積みは力強く、大杉の様相と響き合っていました。

大杉を据え付ける場所の基礎工事が終わると、いよいよ立ておこしと屋根工事がはじまります。想定以上の大きさや天候による遅れはありますが、今まで事故やトラブルも無くここまでできています。安全第一で残りの工程に向き合っていきます。町民の皆様には、もうしばらくご迷惑をおかけしますが、完成までもう少しお付き合いください。よろしく願いいたします。

■東濃地方の自然石を用いた野面積み



折れたり、外れたり不揃いな既存の階段石を加工しながら、整然とした雰囲気の階段を作る。
(写真上)

■今後の予定

2月14日（月）保存部立ておこし、据え付け
3月27日（日）大杉保存活用工事完成式典

■予定変更のお知らせ

2月5日に予定していた、大しめ縄づくりは新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、2月20日（日）に延期開催致します。

今回、足又区から奥村義二さんと小澤美子さんの2名が防災試験に合格され防災士とられました。

「防災士になって思うこと」

奥村 義二

昨年、大湫コミュニティからの勧めもあり「瑞浪市防災リーダー養成講座」を受講し防災士になることができました。ご協力いただいた方々に感謝しております。

防災士として地域の為に自分がきることを考えると、防災についての啓発活動や災害の規模を最小限にする減災活動に力を入れていきたいと思っています。具体的内容については、他の地域の防災リーダーの活動を参考に考えていきたいです。瑞浪市の防災リーダー登録もしたのでイベントなどに参加し大湫町に還元できるように頑張りたいと思っています。

実際の災害時にどれだけ貢献できるかわかりませんが、皆様と一緒に「防災・減災」について学び防災意識が向上する

ことで、実際の災害時には町民全員で助け合い乗り越えると思っています。そのきっかけ作りをしていきたいと思っています。今後もしよろしくお願い致します。



『ててて』に参加して思うこと

加治木 寛之

「ててて」所属の加治木（かじき）です。ご存じない方は初めまして。お久しぶりな方はこんにちは。

簡単に紹介をしますと、住まいは瑞浪駅近く、大湫とは中山道沿いの山林を所有したことがきっかけで出会いました。キムラさん、その節はお世話になりました（汗）。

「ててて」にはそんな出会いから発展して繋がった関係です。途中からの参加

で町外にもかかわらず、メンバーの皆さんが疎まらず暖かく迎えていただいたことは印象的で、その時のことは昨日のことのように覚えていきます。

それからかれこれ一年以上・・・、一緒に笑いあった思い出、眉間にしわを寄せた記憶、総合計画が完成したと聞いたときの感動。「ててて」にいろいろな経験をさせてもらいました。「ててて」の皆さんこれからもよろしくです！

さて、長くなりましたが、私は時々週末に中山道沿いの山林で作業をしていることが多いので、見かけた際には一言、「広報みたよ」といつていただけると嬉しいです。

読んでいただいてありがとうございます。「加治木」でした。



「伊勢神宮初詣に代表として

参加しました」

神社庁瑞浪市支部大湫部会長

天野裕夫

まだまだコロナ禍が続いている中、例年通りの氏子の方々参加の参拝は見合わせ、神職と各地区の代表者で行く事になった。

大型バスに二十七人でゆったりと座っているわけだが、見えないウイルスと同席している気分もあった。

伊勢神宮には三度目である。56年前小学5年生の時に、6年生との合同修学旅行：巨木が林立していた事が一番の印象だった。二度目は20年程前：その巨木の森を見たくなり行ってみた。大湫の大杉程のものは見当たらず、我が町のシンボルを誇らしく思っていた事を思い出す。伊勢神宮を参拝した

大湫の人は同じような感慨を覚えたのではないか。

今回改めて行ってみると、神宮の森の木々は素直で柱のように立ってる。

大杉のような畏敬の念を抱く存在感は薄いと思った。とは言え境内に並ぶ大木と立派な木で造られた鳥居や橋や建物の佇まいは、アニミズム的な感覚を満足させる。自然と融和する日本人の感覚が育てた空間が人々を惹きつけて止まない源泉となっていると思う。

コロナが一段落したら、以前のようにバスを連ねての参拝が復活するかはわからない。ただ巨大な樹木群と精緻に造られた木の神殿群の魅力は日々の生活に清涼感をもたらすと思う。

今回は比較的高齢な男性ばかりの視察旅行のようなものだったが、団体旅行のバスは少なく、家族連れや若者が目立った。今後は多少性格を変え、女

性や子供も含めた地域の親睦旅行の方が良いかもしれない。この行事が良い文化として持続して行くのなら、将来何かを変えていくことも選択肢として必要かとも考えました。

なお、年頭にあたり、一日も早い神明社の復興を皆様とご一緒にご祈念するとともに、新型コロナウイルス感染症が収束し、来年の伊勢神宮初詣は大湫町の多くの皆さまと共に参拝出来ることを願っておりますので、よろしくお願い申し上げます。



小栗 由加里

「かるた大会」だったので、かるたしか無いと思っていましたが、福笑いやすごろくなども用意してあり、小さい子でも楽しむことができました。

かるたももちろん楽しめました、長女は特に福笑いが楽しかったようで、目隠しをして完成した絵を見て笑い転げていました。長男はやすごろくが楽しかったそうです。大人3人と子ども1人、何だか淡々と進んでいきましたが、無事ゴールにたどり着くことが出来て嬉しそうです。

親としてはちゃんとルールが分かっていたことに驚きでした。次男は最初は私にべったりでしたが、次第に慣れ、最終的には部屋を走り回っていて、何をするわけでは無いですが、歳の近い子と遊べて楽しむことができました。

した。

コロナ禍で地域の子たちに会う機会も減っていたので、久しぶりに会う子も何人かいましたが、少し会っていないうちに大きくなっていて驚きました。大きい子たちは百人一首で盛り上がっていて、我が子もいつかできるようになるかなあと楽しみに思いました。

お年玉もありがとうございます。



小さい子は福笑・すごろく。大きな子は百人一首を楽しみました。

私は、新春のかるた大会に参加して、友達と久しぶりに遊べたり、百人一首をいっしょに楽しめたのでたのしかったです。

最近は、コロナでお祭りやイベントがなくて、あそべたりできなかつたので、楽しかったです。

去年は、なにもかも中止やそれじたいやらなかったりで、なにもない一年だったけど、今年は、一月からイベントがあつて嬉しかったです。

中学生や、小学生の子とやれたりしてたのしかったです。

コロナがおさまったら、またイベントが出きるようになると思ひます。



こんにゃく作りに参加して

小澤 美子

十二月十八日、『こんにゃく芋からのこんにゃく作り』に参加させていただきました。

講師の先生の分かりやすい調理手順のお話の後、二人づつ組になって調理開始です。参加者六名（と、お子様一名）年齢も性別も関係なく和気藹々と調理をすすめました。

私はこんにゃく作りは初めての体験です。ごついこんにゃく芋が、どのようにしてあのこんにゃくになるのか不思議でした。

こんにゃく芋を切る、皮を剥ぐ、茹でる、砕く、寝かせる、混ぜる、炭酸ソーダを加える、形を作る、再び茹でる、水に取る。いくつもの工程を経て、見事

にこんにゃくが出来上がりましたが、まるで手品のようにでした。

当日の我が家の夕食にこんにゃくの刺身と煮物に加わり、楽しかった一日を振り返りながらおいしくいただきました。

小さな町の大きな魅力を感じたすてきな一日でした。



こんにゃく芋。え～これがこんにゃくになるの？



『すごく美味しいコンニャクできたよ』と嬉しそうでした。



刺身こんにゃく最高！



12 / 26 公民館講座

蕎麦打ち体験



大湫随一のそば打ち名人！小栗和茂さんに教えていただいて、二八蕎麦を打ちました。
6人の参加者のみなさんと、あっという間のたのしい時間でした！



粉を混ぜて、水を加えて練ります。
蕎麦粉は、中津川の阿木蕎麦です。

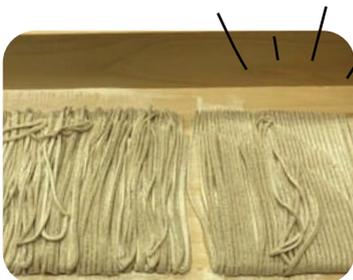
水を入れていくと
段々と蕎麦の
いい香りが！



折りたたんで、生地を切ります。
まな板に包丁がいたら包丁を少し倒し
板を蕎麦一本分ずらして切っていきます。



麺棒で、1.5-2mm くらい均等の厚さになる
ように伸ばしていきます！



左が私、右が小栗さん！
均等で美しい～！

見ているのとやってみるのは大違い！

思った様に生地がまとまらなかったり、四角く伸びていかなかったりしましたが、やっぱり自分で作った蕎麦はものつつすごく美味しかったです！作るって楽しいですね。大根おろし+出汁醤油でいただきました。親戚のお家に来たような和やかな雰囲気でも、とても楽しい年末でした。また絶対来年も参加したいです！

サステナ園原麻友実

町内各地区でどんど焼き

1/9 神田区・足又区

1/16 西北区

西・北区のどんど焼きは、1月16日ふれあい広場で、コロナの感染対策をしっかりと行われました。

当日は晴れて、屋根に積もった雪がドッサドッサと落ちてくる暖かい日となりました。

9時30分に点火して注連縄やお札等を焼いた後、おきの出来るのを待ちます。家族ごとに、どんど焼きのおきをもらい好きな材料を焼きます。

もち、焼きおにぎり、ソーセージ、肉、イカ、エビ、砂肝を焼いている所もありました。

今年はコロナ禍の影響があり、人は少なかったですが、それぞれの家族で楽しんでいました。



9時30分に A・TさんとH・Sさんが火入れをしてくれました。



えび



ソーセージ



もち



砂肝

丸森だより

令和4年1月20日現在

1月 丸森企画

- 12/1～1/15 『丸森の餅花 on 大杉の台座・標柱』、木全靖隆「赤龍神図」と共に。
* 経費を除いた売上は大杉再生事業に寄付。無くなり次第終了
- 4/5～2/4 『丸森常設展 I』
* 竹細工による丸森 1/50 模型(三戸憲和氏 作)
* 大湫町コレクションによる茶陶展(岐阜県無形文化財・林景正、加藤景秋作品等)

1月 大湫の行事・出来事

- *5日 丸森 仕事始め
- *9日 瑞浪市成人式
神田、足又 どんど焼き
クラブツーリズム 20 名来宿
- *10日 瑞浪市消防出初式
- *16日 西・北 どんど焼き



1月 丸森訪問者

町 外		町 内		合 計	その内 (外国関係)
大人	幼小中高	大人	幼小中高		
90	3	54	1	148	0
R3,4月～	4,629人	オープンから	40,056人	R1 同月比	57.8%

(団体等)

- *1月9日 20名 クラブツーリズム 深萱～細久手

(個人等)

- * 昨年末から海外で始まったオミクロン株の流行ですが、年明けから、国内でも第6波襲来とも云うべき状況になりました。岐阜県にも1/21から再度「まん延防止等重点措置」が発出されました。季節的にも来宿者の落ち込む時期ではありますが、例年以上の厳冬・降雪とも相まって、街道の人通りも少なく、淋しいお正月でした。

2月 丸森の企画

- 2/5～4/3 『丸森 ひな祭りフェア』
* 元禄びな、享保びな、土びな、吊るしびな等の展示
- 2/5～ 特別展示 『大湫宿元禄大火注進書』(瑞浪市指定文化財)
* 江戸時代、大湫宿は5度の大きな火災に見舞われました。宿中54軒全焼という元禄14年の大火の報告書が『大湫宿元禄大火注進書』です。出火の原因や状況、類焼した家屋の規模や所有者、宿役名が克明に記録され、当時の大湫宿の規模や旅籠の数など、その歴史や変遷を知ることができます。

※不特定多数のお客様が来館する丸森にとって、入館者の安全とともに、スタッフの感染防止を図ることが一番の課題です。初心に帰ってマスク着用、手指消毒の徹底、体温の確認とともに、密閉、密集、密接の三密を避けることを確実に実行します

おもしろい 2月の集まるう会 R4

☆太鼓は...

大塚町コミュニティ推進協議会集まるう会

12月21日の「志多ら瑞浪公演」には、みんなで参加しました。みんなの感動、思いが、寄せられました。紹介します。

前であっていた高校生達みたいに、カッコよく打たれました。(さんこうすけ)

楽しかったです。(さんあいり)

「ドモドキしたけど、みんなとっしょにかんぱりました。(みよしかなめ)

きんちょうしたけど、楽しく太鼓をたたきました。(みよしるり)

ミスをしたけれど、心配はなかったけど、急内得のいくできになり、よかったです。(みよしはるき)

はるき、るり、かなめが緊張しながらも楽しんで太鼓をたたき姿を見て、晴れやかな気持ちになりました。(みよしみまお母さん)

大人数での「楽」が、迫力満点でした。一人一人がカッコよく感動しました。おつかれさまでした。(ひろたかおりお母さん)

「ぼくは、ひとりでさんかしたのでとてもきんちょうしました。でも、たくさんの方がいて、みんなでたいこをたたいたので、とてもたのしかったです。(ひろたしゅんぺい)

とても気持ちよく打てました、楽しかったです。良い経験をありがとうございました。(あきやまひとえお母さん)

地面が「ドンドンゆれてこわかったけど、みんなも楽しく打っていたので、ちょっとなじめたかなと思います。70回だった人は、とてもじょうずで、そんなふうに打てたらいいなと思いました。(あきやまちほ)

高校生の友達と一緒にできたことは、とてもよかったです。これからも続けていきたいです。(たなはしりさ)

70回の方と演奏できたり直接指導してもらえたことは、とても良い経験になりました。(たなはしつお)

麗澤瑞浪高等学校太鼓部/中京高等学校太鼓部のみな様、そして志多らのみな様ありがとうございました。これからも御指導いただきますようお願いいたします。

お知らせ: 2月の太鼓練習は、ありません。

令和4年3月27日(日) 神明大杉再建事業完成式典に太鼓で参加します。

1/23公民館講座 『黒豆餅作り』



おいしい黒豆餅
が、できました。

令和4年 年賀状展

公民館ロビーで、1/20(木)
から展示しています。(土・日曜
日・祝日は休館)

楽しい年賀状を見に来てくだ
さい。



公民館講座のご案内

公民館講座

『キノコの菌打ち体験』

しいたけ・なめこの菌打ちをして、原木の育て方を教わりましょう。

日 時 : 3月19日(土)
9:30~12:00
場 所 : 大湫公民館
受講料 : (一家族) 1,000円
定 員 : 10家族
持ち物 : 軍手・かなづち(持っている方は)
服 装 : 作業のできる服装
申込締切 : 3月14日(月)

申込・お問い合わせ
大湫公民館 ☎0572-63-2360



神明大杉 大しめ縄作り 2/20 (日) に変更

岐阜県の非常事態宣言の発令により、2/5 (土) に予定していました神明大杉大しめ縄作りを2/20 (日) に延期します。

日時 : 2022年2月20日(日)
8:00~12:00

場所 : 大湫公民館 講堂

*作業終了後の昼食はありません。

申込 お問い合わせ

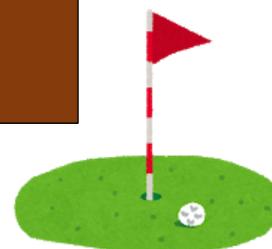
大湫公民館 ☎0572-63-2360



大湫町民ゴルフ大会のご案内



皆様方の参加を待っています!



日時 : 令和4年3月10日 (木)
場所 : 中仙道ゴルフ場 (☎63-3111)
スタート : 9:24~ アウト・イン同時スタート
協技方法 : ダブルペリア方式
参加費 : 1,000円
プレー代 : 3,000円
申込期限 : 令和4年2月22日 (火)
申込先 : 大湫コミュニティ ☎63-2360
伊藤勝佑 (090-4447-9527)
柘植 巧 (090-1832-2125)

大湫公民館・大湫町コミュニティ推進協議会からのお知らせ

	<p>リ・アップ “ひよも” だより</p> <p>2月はお休みさせていただきます。</p>
	<p>大湫宿お休み処</p> <p>3月までお休みさせていただきます。</p>
	<p>ご招待券あります 2枚 (公民館にあります。利用される方は取りに来て下さい。)</p> <p>岐阜の縄文世界</p> <p>日時：1月8日(土)～3月13日(日) 休館日▶月曜日 場所：岐阜県博物館。</p>
	<p>オススメ!! 大湫分室の本</p> <p>『塩の樹と森の人魚』 塚本はつ歌:著 産業編集センター:刊</p> <p>瑞浪市出身の作家塚本はつ歌さんの第2作目。今回は大湫の神明神社の大杉がモデルになったお話です。樹の伝説をめぐる不思議な物語になっています。</p> <p>12月の大湫分室 貸出人数：11人 貸出冊数：41冊</p>
	<p>デマンド交通</p> <p>12月利用者(大湫～日吉東部)</p> <p>24便 延べ38名(稼働率19.0%)</p> <div data-bbox="1066 1429 1401 1541" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>皆さん、たくさん利用してください。</p> </div>
	<p>青色回転灯防犯パトロール</p> <p>2月のパトロール予定者</p> <p>2月上旬 小栗 和茂：植村 準 2月下旬 奥村 義二：棚橋 悟</p>

3月4日(金)『確定申告相談会』大湫公民館 第一研修室 9:00～11:30

区長日記

新年早々オミクロン株の感染急拡大により、岐阜県も「まん延防止等重点措置」の適用を受け、町としても自治活動にブレーキをかけざるを得ない状況となっています。症状が軽めとはいえ、高齢者や基礎疾患のある人にとっては、重症化への入り口であり、手洗い・マスク・三密回避など、日頃の生活に最大限の注意を払い、罹患しないよう努めて参りたいと思います。三回目のワクチン接種も、前倒し実施により日程に入って参りましたので、可能な限り速やかに取り組みを進め、社会的免疫の構築に努めて行くようではありませんか。

お陰様で大湫町には接種場所として大湫病院があり、厚い情報の発信と受診者のケアに当たっていただいておりますので、町民としても出来る限り積極的な取り組みをお願いして参りたいと思います。

さて、令和3年度の自治活動の最大の課題でもありました「大杉保存活用工事」につきましては、お陰様で大きな事故もなく完成の時を迎えようとしております。関係者の

皆様のご尽力に改めてお礼申し上げます。

2月20日には町民参加により『大しめ縄作り』を行い、3月24日には『神明大杉についての学術研究報告会』を開催し、3月27日には、町民の皆様とともに協力者の皆様をお迎えして『神明大杉再生事業完成式典』を実施して参りたいと思いますので、ご協力のほどお願い申し上げます。

足立

- 1月4日 仕事始め
- 7日 定例区長会・幹事会、かるた大会
- 9日 足又・神田どんど焼き
- 11日 転入対策委員会
- 12日 大杉再生検討会議
- 13日 道の駅打ち合わせ会、公民館長会議
- 14日 研究報告会打合せ会議
- 16日 西北地区どんど焼き
- 17日 公民館防災訓練
- 18日 コミュニティスクール企画会議
- 27日 おもだかや資材点検

令和四年二月行事予定

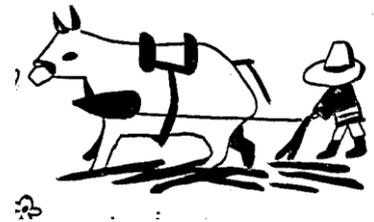
日	曜	予	定
四	金	優良公民館表彰式（リモート）	
五	土	神明神社大杉注連縄づくり二十日に 延期 丸森 お雛様展示始まる	
七	月	財産区全員会議	
九	水	定例区長・幹事会	
一	金	建国記念日	
二	〇	神明神社大杉注連縄づくり	
二	三	天皇誕生日	
二	五	子ども会インリーダー会	
二	六	公民館・丸森運営会議	
二	七	広報委員会	



不燃ごみ:2/3(木) : 資源ごみ:2/18(金)

編集後記

年末に町民の皆様立派な注連縄を、作っていたいただき、公民館に飾る事ができました。神社に初詣に行った時は、どうしても注連縄が気になります。大湫のようなりっぱな注連縄はなかなか見られません。今度行われる、神明神社の残された大杉には、若い人たちが中心になり、注連縄の会の方達に教わりながら注連縄をつくる事が決まっています。伝統技術が若い人たちに引き継がれていくことを嬉しく思います。



編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会
 令和4年2月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL.0572(63)2360
<http://okute-shuku.jp>